

URAシステム整備についての現状①

(「平成28年度 大学等における産学連携等実施状況について」の関連調査より)

※本年、「平成28年度 大学等における産学連携等実施状況について」の関連調査として、「リサーチ・アドミニストレーターの整備状況等について」の作成協力を要請。

【調査に当たっての条件設定 (調査票より抜粋)】

【関連調査 様式10について】

※本関連調査は、貴機関において「リサーチ・アドミニストレーターの育成・確保」に最も関連が深いと考えられる部署において実績等を調査し作成してください。
(想定している部署)大学等の研究推進部課、研究協力部課、産学官連携推進部課、... 等

※本関連調査は、我が国の大学等でURAが必要とされている反面、URAの整備は不十分であるとされる状況を具体的に承知するため、「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」事業の平成23年度からの開始に合わせ、大学等におけるURA職の中心的な部分を捉えるための調査項目を設定しています。

○リサーチ・アドミニストレーター(URA)とは

※本調査におけるURAとは、大学等において、研究者とともに(専ら研究を行う職とは別の位置づけとして)研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行う(単に研究に係る行政手続きを行うという意味ではない。)ことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材を指すこととします。

例えば、以下のようなものがURAの業務として考えられます。

- ①研究戦略推進支援(政策情報等の調査分析、研究力の調査分析、研究戦略策定)
- ②プレ・アワード(研究プロジェクト企画立案支援、外部資金情報収集、研究プロジェクト企画のための内部折衝活動、研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整、申請資料作成支援)
- ③ポスト・アワード(研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整、プロジェクトの進捗管理、プロジェクトの予算管理、プロジェクト評価対応関連、報告書作成)
- ④関連部門(教育プロジェクト支援、国際連携支援、産学連携支援、知財関連、研究機関としての発信力強化推進、イベント開催関連、安全管理関連、倫理・コンプライアンス関連)

(注)この内容は、平成23年度から文部科学省で実施している補助金事業「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」(リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備)(以下関連調査 様式12において「URA配置支援補助金」という。)公募要領の「(2)事業の目的」からの引用と、東京大学「『リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備(スキル標準の作成)』成果報告書」を基に作成しています。

1. 貴機関において、上記の【リサーチ・アドミニストレーター(URA)とは】に該当する人材を「URAとして配置」している状況(平成28年度末時点)について回答してください。その際、本調査において、「URAとして配置」している者(職名をURAとしていない場合も含む)は、以下の①～③のいずれかに該当する者とします。

- ①「URA配置支援補助金」、「研究大学強化促進費」で雇用したURA。
- ②①以外の経費で雇用し、URAとしての業務に専念専従させている者(①に準ずる者)。
- ③①以外の経費で雇用し、全業務時間の半分以上をURAとしての業務に従事させている者。

以下の④に該当する者(職名をURAとしている場合も含む)については、本調査における集計の性格上、「URAとして配置」には含めないようにしてください。

なお、④に該当する者を、貴機関においてURAとして位置づけていただくことを否定するものではありません。

- ④機関の独自経費等で雇用しURAとしての業務に従事させているが、その時間が全業務時間の半分未満である者。

URAシステム整備についての現状②

(「平成28年度 大学等における産学連携等実施状況について」の関連調査より)

【調査結果の例】

()は前年度の数

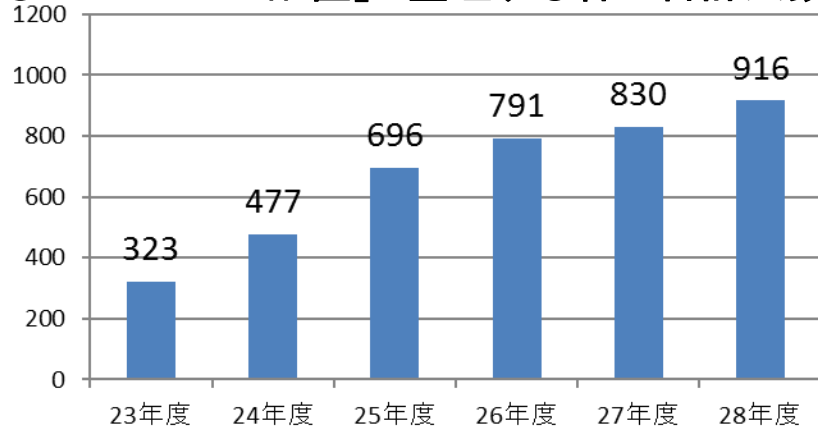
○「URAとして配置」と整理する者が「いる」と回答した機関数 102機関(93)

○「URAとして配置」と整理する者の内訳

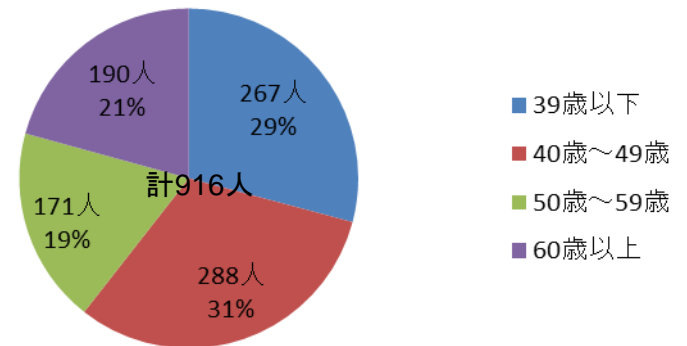
種別	人数	雇用経費	人数
①に該当する者	254(257)	URA配置支援補助金	13(25)
		研究大学強化促進費	241(232)
②に該当する者	447(384)	機関の運営経費	319(277)
		外部資金	128(107)
③に該当する者	215(189)	機関の運営経費	185(159)
		外部資金	30(30)
合計		916(830)	

- ①→「URA配置支援補助金」、「研究大学強化促進費」で雇用したURA
 ②→①以外の経費で雇用し、URAとしての業務に専念専従させている者(①に準ずる者)
 ③→①以外の経費で雇用し、全業務時間の半分以上をURAとしての業務に従事させている者

○「URAとして配置」と整理する者の合計人数



○「URAとして配置」と整理する者の年齢構成割合



○「URAとして配置」と整理する者の年齢構成

	39歳以下	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	合計
人数	267人	288人	171人	190人	916人

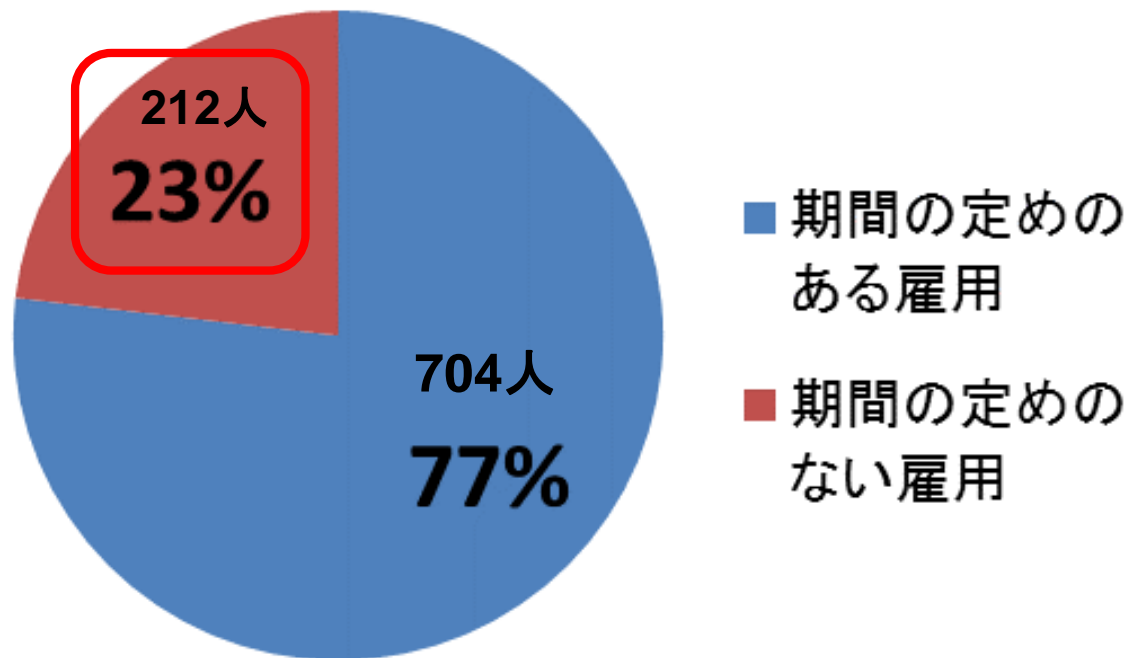
URAシステム整備についての現状③

(「平成28年度 大学等における産学連携等実施状況について」の関連調査より)

【調査結果の例】

○「URAとして配置」と整理する者の雇用期間の定め

平成28年度
(n=916)



URAシステム整備についての現状④

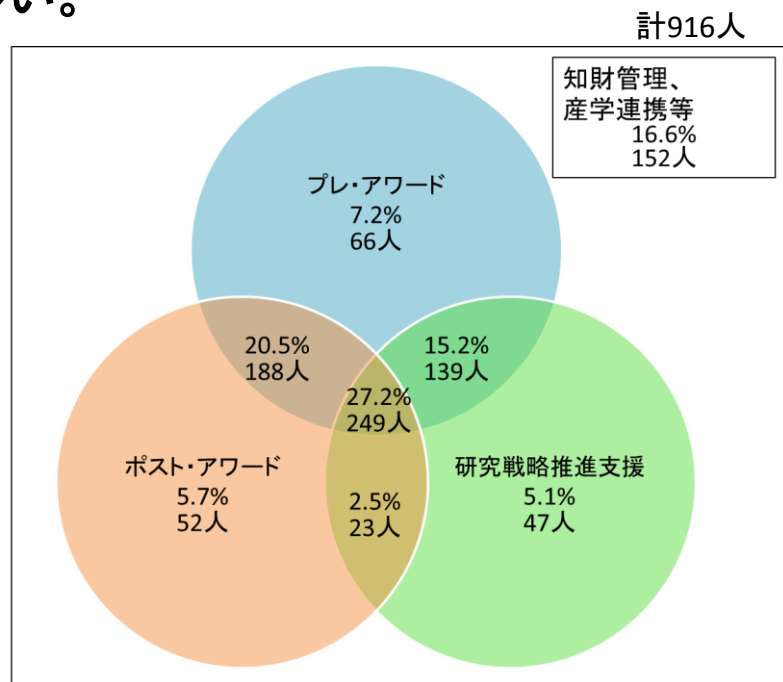
(「平成28年度 大学等における産学連携等実施状況について」の関連調査より)

【調査結果の例】

○「URAとして配置」と整理する者の職務従事状況

	主としてプレ・アワード担当	主としてポスト・アワード担当	主として研究戦略推進支援担当	プレ・アワード及びポスト・アワード担当	プレ・アワード及び研究戦略推進支援担当	ポスト・アワード及び研究戦略推進支援担当	プレ・アワード、ポスト・アワード、研究戦略推進支援担当	その他	小計
主たる担当業務別の従事人数	66人	52人	47人	188人	139人	23人	249人	152人	916人

この条件設定では、プレ・アワード、ポスト・アワード、研究戦略推進支援を担当するURAが多い。



プレ・アワード業務:

プロジェクトの企画から設計、調整、申請までを担う以下のような業務を指します。

研究プロジェクト企画立案支援/外部資金情報収集/研究プロジェクト企画のための内部折衝活動/研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整/申請資料作成支援

ポスト・アワード業務:

プロジェクト採択後の適正な運営に関する以下のような業務を指します。

研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整/プロジェクトの進捗管理/プロジェクトの予算管理/プロジェクト評価対応関連/報告書作成

研究戦略推進支援:

国の科学技術政策の調査分析や学内研究資源の把握等以下のような業務を指します。

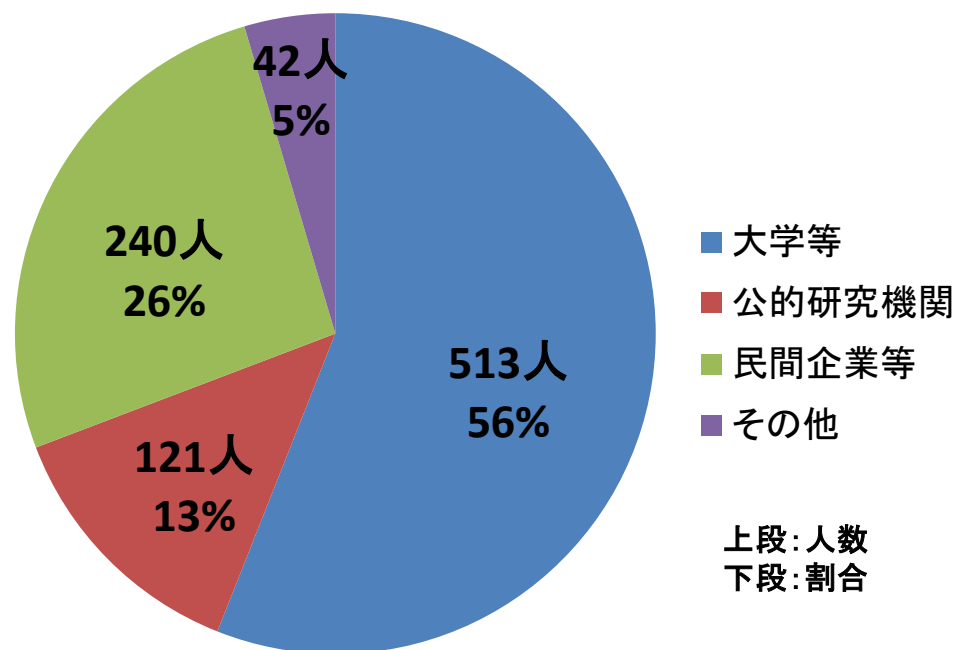
政策情報等の調査分析/研究力の調査分析/研究戦略策定

URAシステム整備についての現状⑤

(「平成28年度 大学等における産学連携等実施状況について」の関連調査より)

【所属機関別】

平成28年度
(n=916)

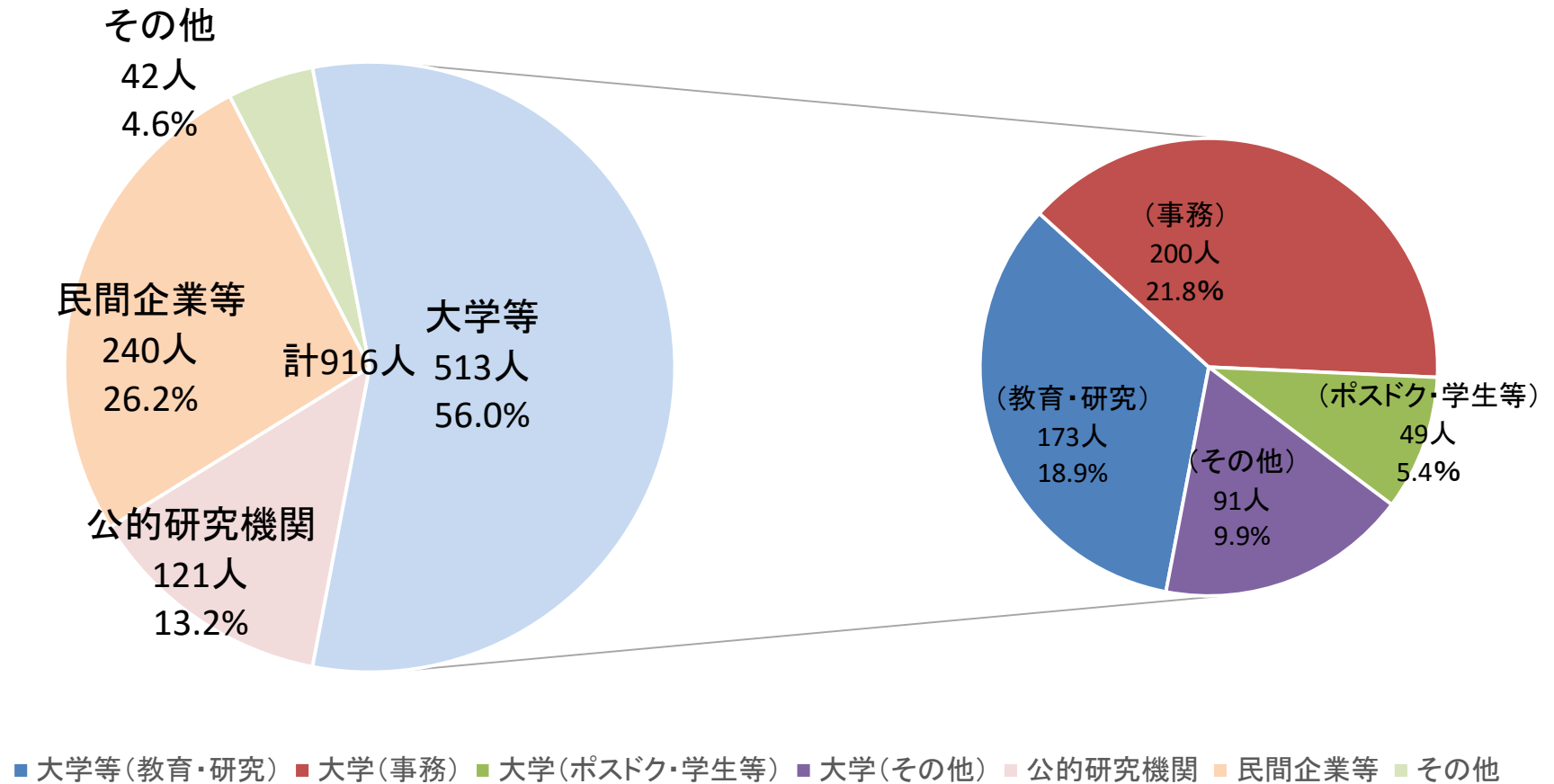


URAシステム整備についての現状⑥

(「平成28年度 大学等における産学連携等実施状況について」の関連調査より)

【職種別】

「URAとして配置」と整理する者の前職



URAシステム整備についての現状⑦

(「平成28年度 大学等における産学連携等実施状況について」の関連調査より)

○約86%の大学等はリサーチ・アドミニストレーターを配置していない。

○ URAの配置状況

